

高等部合同 生活単元学習 学習指導案

日時 平成29年11月29日(水) 3・4校時
場所 体育館
生徒 男子21名 女子8名 計29名
指導者 T1 鈴木陽, T2 田中雄介, T3 長崎尚嗣
T4 小嶋美幸, T5 久慈幹子, T6 泉彩樹
T7 糸屋心

1 単元名

リンゴレンジャー出動! 2017 ～花輪小学校プロジェクト編～

2 単元目標

- (1) これまでのレンジャーショーで培ったものをすべて生かし、友達と協力したり、意見を交わしたりして、ショーの質を上げる。
- (2) 一人一人が役割をもったり、全員でショーを表現したりして、高等部全体で花輪小学校でのショーを作り上げる。

3 生徒と単元

<生徒の学習に向かう姿と単元について>

高等部は1年生10名、2年生11名、3年生8名の計29名である。個別の支援計画や個別の指導計画において、人間関係の形成やコミュニケーション面、責任をもって最後までやり遂げる力に課題がある生徒が多く、活動の逸脱や友達や職員とのトラブルが起こっていた。友達の意見を受け入れられずに自分の意見を押し通しすぎたり、得意な活動にだけ友達と協力して取り組んだりすることが目立っていたが、学部合同でのリンゴレンジャーの活動を通して、友達の頑張っている姿に気付いたり、苦手な活動にもみんなと一緒に取り組もうとしたりする姿が見られるようになってきた。

リンゴレンジャーの活動は高等部全員でショーを作り上げていく学習である。生徒全員で一つのショーを協力しながら作り上げていく過程を通して、集団で活動することのよさや好ましい人間関係を形成する力を育むことができる。これまでのショーや自分たちの練習場面を振り返る活動を設定することで、友達のよさを認め、よりショーの質を高めるために友達にアドバイスしたり、友達からの動きや話し方等についてのアドバイスを受け入れて練習に取り組んだりすることができる。本単元を通して、全員で一つの目標に向けて協力しながら練習に取り組もうとする気持ちを育んだり、目標を達成し達成感や成就感を共有して仲間意識を高めたりすることができると考え、本単元を設定した。

リンゴレンジャーの活動は4年目になり、今年度も地域の保育園やイベント、スマイルステージそして学習発表会でショーを行ったことで、地域での認知度はかなり高まってきた。現在はショーが完成するまでの演技から演出、大道具、台本の製作まで生徒一人一人が役割を担って行うことができるようになってきた。これまでの活動を通して、地域から感謝される体験を積み重ね、自己有用感や自己肯定感が高まってきている。さらに学習発表会の成功から、その生徒たちの自信が高まり、より自分たちでショーを作りたい、さらにいろんなことをやってみたいという声が強くなった。より質の高いショーを制作するための活動を通して、自分の役割に責任を持ち、最後までやり遂げる力や集団の一員として適切な人間関係を保つ力を高めていきたい。

4 指導計画（総時数 3 2 時間）

主な学習活動・内容	主なねらい	時数	指導方法の工夫
1 学習発表会のショーの振り返り オリエンテーション ・ビデオ視聴 ・話し合い ・各グループでの練習	・学習発表会のショーのビデオを見て、盛り上がっている場面からショーのよさや改善が必要な点を見つけて意見を出し合う。 ・自分たちでショーを作り上げるために、これまでに培ったノウハウを生かした考えやテーマの設定をする。 ・ショーのテーマや内容、自分の役割を知る。	6 プレ (3・4/6)	・全員が同じ視点で前回のショーを振り返ることができるように、見る視点を精選しながら事前に提示する。「対」「深」 ・自分たちで、ショーを作り上げる意識をもてるように、これまでの成功した内容を伝えたり、これまでのショーの盛り上がったところを分析したりする。「主」
2 ショーの構成会議① ・各グループでの話し合いや練習 ・台本の直し ・内容の話し合い	・テーマや内容、ショーの盛り上がりを意識して、演技の動きやせりふ、ダンス等を考えたり、練習をしたりする。 ・みんなでショーを作り上げることを意識し、企画や練習から一人一人ができる役割や動きを考えて取り組む。	2 本番 (1・2/2)	・自分たちが作り上げているという意識をもてるように、台本や配役の素案を提示する。「主」「深」 ・みんなでショーが作っているように、全員でのロールプレイの機会を設定する。「対」「深」 ・演技やダンス等の動きや見た目を自分たちで工夫できるように、映像を撮り分析する。「主」「対」
3 練習① <劇1グループ> ・台本の読み合わせ、戦闘シーンの構想と練習 <劇2グループ> ・ポーズやダンスの構想と練習 ・せりふや動きの練習 発声練習 <音響照明グループ> ・効果音やBGM等の選定 ・視覚効果(スライド)の作成	・自分の役割が分かり、友達と協力しながら進んで練習に取り組む。 ・前回のショーの振り返りや構成会議で出た改善案を取り入れながら練習に取り組む。 ・より質の高いショーに仕上げるために、一つ一つの動きやダンス、効果音などにこだわって考える。	6	・自分の役割や活動内容が分かるように、活動内容を記した活動表を提示する。「主」「対」 ・改善案を意識して練習や準備に取り組むことができるように、取り組む前に改善する動きや話し方を伝えたり、見本を見せたりする。「主」「深」
4 構成会議② ・各グループの企画や練習 ・リーダー会議 ・外部からの意見反映	・通し練習から、ストーリーの分かりやすさや動きの改善点、音響や照明等の善悪等についてより質の高いものになるように意見を出す。 ・外部(他学部、警察等)の方にも通し練習を見てもらい、改善案等を通して、反映できるものを考える。	2	・より質の高いものへ改善していくために、通し練習を撮影したり、外部(他学部や警察等)の方に見てもらったりする。「深」
5 練習② ・部分練習 ・通し練習 ・予行練習	・自分の待機場所やショーの動き、せりふが分かり、進んで部分練習や通し練習に取り組む。 ・前回の構成会議②から出た改善案を取り入れながら練習に取り組む。 ・より質の高いショーに仕上げるために、全員で協力して取り組む。	10	・自分の役割や活動内容が分かるように、活動内容を記した活動表を提示する。「主」 ・改善案を意識して練習に取り組むことができるように、練習前に改善する動きや話し方を伝えたり、見本を見せたりする。「主」「深」 ・全員で協力して取り組もうとする気持ちをもてるように、学習の約束を確認し、協力して取り組む

			むことを伝える。 「主」「対」
6 本番 ・花輪小学校でのレンジャーショー	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割に責任をもって取り組む。 それぞれの全力を出し尽くしてショーを成功させる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 一人一役の活躍の場を設定する。「主」 練習の成果を確認し、自信をもってショーに臨めるようにする。「主」「深」
6. 振り返り ・反省会 ・今後の展開を考える	<ul style="list-style-type: none"> ショーの達成感をしっかりと感じ、それぞれの自信にする。 自分たちの成長やよかったところを振り返り、今後の生活へつなげる。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのよさや成長を感じられるように、自分や友達の良さを映像で振り返り、それぞれ「深」

5 生徒の様子及び単元目標

<① 劇1グループ>

氏名 (学年・性別)	個別の指導計画における年間目標	今までの取り組みの様子	単元目標
① A (1年・女)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かり、自分から活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会では、自分の出演場面が分かり、舞台袖で並んで待ったり、ダンスを覚えたりして友達と発表することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを進める友達の問いかけに応じて意見を述べる。 ロールプレイでの発表では、友達の誘いに応じて演技する。
① B (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 自分と友達の役割を話し合いながら一緒に決める。 教師の話聞いて自分の役割を理解し、片付けと準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に演出を担当していたが、ステージ上で演技する事にも興味をもち始め、元気フェスタ編ではレッドを担当した。また考えた自分の意見を、友達や先輩に提案できるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> イメージしているシチュエーションを友達や先輩に、自分から言葉や動きで伝える。
① C (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解し、自ら進んで活動に取り組んだり、友達とコミュニケーションをとったりしながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ブルーやショッカーなど、演技を担当してきたが、友達や先輩が考えたアドバイスを受け入れ、柔軟に対応することができている。また自分の事だけで無く友達の演技も覚え、せりふや動きの間違いを教えてあげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先輩の意見を取り入れ、イメージしたことを実際に動いて表現して相手に伝える。
① D (2年・女)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の中で、友達の意見を聞いて自分の意見を深めたり、行動に移したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動では、自分の意見を積極的に言うことができた。 リングレンジャーショーでは、劇の流れや自分の動きを覚え、しっかりと取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内の友達が全員参加できるように話し合い活動を進める。
① E (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解し、自ら進んで活動に取り組んだり、友達とコミュニケーションをとったりしながら協力して活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の頃から悪役を担当してきた。せりふの言い方や、表したい感情に応じた動きを自分で考えて表現することが得意である。また友達の動きや殺陣の段取りについても積極的に意見を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができる動きや考えた動きを他人ができるとは限らないことを理解し、伝える相手に応じた内容を考えてアドバイスする。
① F (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動で、自分の意見に自信をもって発表する。 自分の要求や思いに自信をもって表現し、友達と協力して活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ショーの中では敵役を担当することが多く、コミカルな動きを自分で考えて演技することができた。また、グループ内で出てきた意見については、言葉のやりとりに加えて、実際にみんなで演技を交えながら活動すると、楽しそうにする様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ショーを盛り上げるためにグループで出された動きのイメージについて、自分だったらどうやるか、実際に動いたり、友達の動きをまねしたりしながら活動する。

① G (2年・女)	・自分の役割が分かり、友達と協力して活動に取り組む。	・前回までのショーに向けての製作場面では、ちぎった紙を台紙に貼り付け、その用紙を次の行程の友達に自分で渡しに行くなど、全体の動きを理解し、時間いっぱい活動に取り組むことができた。	・ショーの中での決めポーズやダンスをグループで練習する場面では、友達の促しに応じながら一緒に演技練習に参加する。
① H (2年・男)	・友達の考えを聞き、認め合いながら話し合い活動をする。	・悪役のお姫様として、インパクトのある演技や、せりふを堂々とステージ上で表現することができる。	・観客がより分かりやすく、楽しめる演技ができるように、グループから出された新たな動きに対しての意見について、本人ができる範囲で取り入れながら活動に取り組む。
① I (2年・女)	・友達の意見を聞いて、自分の意見を深めたり、新しい考えを取り入れようとしたりする。	・話し合い活動で自分から意見を言うことはあまりないが、友達や教師からの問いに対して自分の意見を言うことができた。学習発表会の劇の中では、友達を気に掛け、出演場面などで声を掛けることができた。	・グループ内の友達が全員話し合い活動やロールプレイに参加できるように、友達の意見を聞き出したり誘ったりする。
① J (2年・男)	・自分の役割が分かり、友達や教師と言葉や道具を介して、やりとりを楽しみながら活動に取り組む。	・ショーの製作グループの活動では、ちぎった紙を一人で台紙に黙々と貼り、時間いっぱい活動に取り組めた。また学習発表会では、自分の配役の演技を繰り返しの練習や、友達の促しなどに応じてできるようになった。	・話し合いの中で、友達から出された劇中の動きを検討する段階で、他の友達の様子を見ながら、できる部分を一緒に演技をしてみる。
① K (3年・男)	・適切な方法でコミュニケーションをとりながらよい人間関係を保って活動する。	・主に戦闘シーンの細かい動きについて、どのようにしたら観客が分かりやすいのかについて考え、実際に具体的なアドバイスをグループの中で出すことができていた。	・ショーの質を高めるために、全体構成や舞台上の細かい動きについて、自分から意見を述べることに加え、友達から出された意見を取り入れながら活動をする。
① L (3年・男)	・友達と協力して最後まで役割を果たす。	・演技ではステージ上の立ち位置や動線、動き方などを自分の考えと友達からのアドバイスをすり合わせながら表現できる。	・最初に自分で考えた動きや意見を基に、友達のアドバイスをし、合わせてショッカーの動きを完成させる。
① M (3年・女)	・自分の役割に責任をもって最後まで取り組んだり、友達や下級生にアドバイスしたりしながら自信をもって活動に取り組む。	・話し合い活動で自分から意見を言うことはあまりないが、友達や教師からの問いに対して自分の意見を言うことができた。 ・リンゴレンジャーショーでは、劇の流れや自分の動きを覚え、しっかり取り組むことができた。	・話し合い活動で、自分のできそうな役割を自分から見つけて取り組む。

<② 劇2グループ>

氏名 (学年・性別)	個別の指導計画における年間目標	今までの取り組みの様子	単元目標
② A (1年・男)	・自分の役割を理解し、友達と協力しながら制作する。	・学習発表会では自分の役割が分かり友達と一緒に笑顔でダンスをすることができた。	・友達と一緒にロールプレイでダンスやポーズをする。

② B (1年・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が分かり、自分から取り組む。 ・友達と協力しながら最後まで活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会ではクルッと回ってバンザイをするポーズを友達と動きを合わせて演じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のせりふや動きに合わせて、ロールプレイをする。
② C (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団への指示で自分の役割が分かり、友達と協力して取り組む。 ・やりたい活動や提案を友達や教師に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会では「ブーン」とロズさんと登場する等、トンボ役になりきりながら演じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイで友達と一緒にタイミングを合わせてダンスやポーズをする。
② D (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当した仕事に見通しをもち、繰り返し取り組む。 ・自分がやりたい活動を選択して、友達と協力して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会ではタイムマシーン博士助手役を担当し、友達とタイミングを合わせて「ツグー（博士）」と大きな声でせりふを言うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイで友達とタイミングを合わせてかけ声や簡単なポーズをする。
② E (1年・女)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を理解し、友達と協力しながら、責任をもって最後まで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会では役になりきって原始人や夫婦役を演じることができた。恥ずかしがらずに大きな声でせりふを言ったり、踊ったりすることができ、楽しんで演じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を取り入れたりしながらロールプレイをする。
② F (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできることを考え友達の役割を話し合いながら一緒に決める。 ・教師の話聞いて自分の役割を理解し、片付けと準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのテーマに沿いながら自分の意見を言うことができるようになってきた。ショーではお兄さん役を担当して、緊張しながらもゆっくり大きな声で話すことができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを話したり、友達の意見を受け、その意見に対して自分はどう思うのか意見を言ったりする。
② G (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ活動に一定の時間集中して取り組む。 ・準備や後片付けを進んで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会では練習を繰り返し行ったことで自信がつき、恥ずかしがらずに演じることができた。せりふや登場する場面もすぐに覚え、周りの友達にアドバイスをすることもできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った動きを考えたり、相手に合わせた動きを考えたりしながら、ロールプレイのストーリーを考える。
② H (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が通らないときでも、落ち着いて話し合いに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでは自分の意見を積極的に伝えることができるが、周りの意見を認めることが難しい。学習発表会では、役になりきって堂々と演じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのリーダーとして、友達の意見を受け入れながら話し合いを進める。
② I (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を受け入れながら、進んで友達を手伝い活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりの中で気持ちが不安定になってしまい、練習に参加できないことがあったが、学習発表会では自分のせりふや動きを覚え、友達と一緒に大工役を演じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を誘ったり、誘いを受け入れたりしながら、ロールプレイの練習や発表に自分から進んで取り組む。

② J (3年・女)	・同じ活動をする友達を覚えて役割を果たしながら、最後まで取り組む。	・学習発表会では自分の出演場面で、友達と一緒に丸太に見立てた道具を持って登場することができた。	・ロールプレイでの発表では、友達の誘いに応じて笑顔で演技する。
② K (3年・男)	・友達と内容について、話し合いながら活動を進める。	・リンゴレンジャーに扮して武器を使用したアクションや悪役との立ち回りを演じることができた。	・話し合いを進める友達の問いかけに応じて意見を述べる。

<③ 音響・照明グループ>

氏名 (学年・性別)	個別の指導計画における年間目標	今までの取り組みの様子	単元目標
③ A (1年・男)	・自分や友達の役割を話し合いながら一緒に決める。 ・教師の話聞いて役割を理解し片付けと準備を行う。	・地域のイベントのレンジャーショーではお兄さんの役を務め、せりふをはっきりと言い最後まで果たすことができた。今現在は、毎日の登校が難しいが、取り組みへは興味をもっている。	・登校時に、レンジャーショーに関する友達の取り組みの様子を見たり、台本や配役についての話を聞いたりする。
③ B (2年・男)	・自分の考えを真面目に伝え、活動に責任をもって行動する。 ・話し合いの中で、自分の意見をしっかりと話す。	・場面に合わせた視覚効果を作ったり、タイミングよく画面を切り替えたりした。その中で気づいたことやうまくいかなかったことを考え、動画を取り入れたりメッセージを作成したりと積極的に活動している。	・自分の役割を理解し、自ら練習に取り組むなど意欲的に活動する。 ・話し合いのテーマに合った意見を自分の言葉で伝えたり、ロールプレイの工夫できるところを提案したりする。
③ C (3年・男)	・率先して役割分担や活動内容について意見を出し、友達に伝える。	・人前で話すことや自分の気持ちを伝えることを苦手としているが、話し合いや役を演じることで、自信を持って発表したり気持ちを表現したりすることができるようになった。	・話し合いのリーダーとして自分や友達の意見をまとめる。 ・自分の役割を理解し、工夫できる部分を見つけ自ら進んで活動する。
③ D (3年・男)	・多くの活動から得意な事を見つけ、自信をもって発表したり、活動したりする。	・ストーリーや場面に合った音楽を自分で探し、編集した。ブルーの役になりきり今までの経験から、演じる人の気持ちを考えて意見を出したり、新しい案を考えたりすることができるようになった。	・話し合いのテーマを理解し自らの経験からより具体的な意見を出す。 ・ショーの盛り上がり客観的に考え、工夫できる部分を自ら提案する。
③ E (3年・男)	・友達の意見と自分の意見をすり合わせ、お互いが納得できるような話し合いをする。	・体調不良のため毎回の参加は難しいが、武器の修復を中心に行ってきた。また、ショーを客観的に見ることができ改善点などを友達と考えてアドバイスをすることができる。	・自分の得意とする活動を見つけ、話し合いの記録係や武器作りなどに自ら参加する。 ・ショーの練習を通して、気付いた改善点を提案する。